

児童の実態
保護者の願い
地域の活性化
教育公務員の使命

令和7年度 敦賀南小学校 スクールプラン

令和の敦賀市学校教育ビジョン
＜新たな学校教育プラン＞
① 探究的な学びの充実
② 情報活用能力の育成
③ 英語教育の推進

【学校教育目標】
すべての南の子に笑顔を

【めざす児童像】
ひとりであるく 【自律する子】 **みんなとあるく** 【協働する子】 **力のかぎりあるく** 【あきらめない子】

【めざす学校像】
笑顔 で登校し **笑顔** で帰宅できる学校

【真の業務改善を達成する】
校務DXの第2ステージ…児童理解の促進・保護者との信頼を高める
教員の発信力の強化 「対話」による深い学びのある研修を実施

【重点目標1】
夢 〈学び続ける力〉

- ① 自ら課題を持ち、学び深める意欲
- ② 論理的に思考し、情報を整理し発信する力
- ③ 学びを支える知識・技能の定着

【重点目標2】
仲間 〈豊かな心〉

- ① 自他を愛し敬う心と生命を慈しむ愛情
- ② 法令を守り人権を尊重し合える関係づくり
- ③ 多様性を認め合い自分の生き方を考える

【重点目標3】
挑戦 〈たくましい身体〉

- ① 健康で健全な生活を営む身体
- ② 意欲的に継続して楽しく取り組める身体
- ③ 危機・危険を予想し回避できる身体

【重点目標4】
地域活性化 〈南の子〉

- ① 家庭・地域と共に育てる南の子
- ② 15年間の学びがつながる南の子
- ③ ふるさと敦賀を元気にする南の子

【具体的な取組】

- ① 自ら課題を持ち、学び深める意欲
＜探究学習＞「なぜ?」「やってみよう」「おもしろい」へ生活・総合的な学習の時間で段階的に探究学習を実施。自らテーマを持ち、探究のプロセスで社会とつながる力を育成
＜自由進度学習＞自分で「選び」自分で「決める」課題や学習方法等を自己選択し、主体的に学習を進める「自由進度学習」により学ぶ意欲を高める
- ② 論理的に思考し、情報を整理し発信する力
＜論理的思考＞「筋道を通して」考える
プログラミング教育により、一つの正解から、自分なりの論理が構築された「最適解」を求める論理的思考力を向上
＜情報発信力＞「わかりやすく」まとめ伝えよう
目的に応じて自分の考えを整理・表現・共有し、情報を「選択・整理」し、相手にわかりやすく「まとめ・伝える」力をつける
- ③ 学びを支える知識・技能の定着
＜学習の個別化＞あなたに「一番いい」学び方を
発達段階、学習進度や理解度に応じた学習方法や課題を提供（紙、デジタル、集団、個別等）協働的な学びを推進
＜学習権（機会）の保障の徹底＞学びを確保！
校内サポートルームや遠隔システム・デジタルドリルにより、教室外でも学べる環境を提供
＜読書活動＞本は「世界・過去・未来」の人との出会い
読書ラリー、語り聞かせにより、慈しむ心情を醸成し、知的好奇心を喚起する

【目標】
探究学習の成果発表の実施…1回以上
授業がよくわかる・楽しい…90%以上
校内サポートルームの効果検証・個人の登校目標達成

【具体的な取組】

- ① 自他を愛し敬う心と生命を慈しむ愛情
＜命の教育＞かけがえのない「あなたの命」
「道徳教育」「他者を尊重」を基本とした学級経営により自己肯定感を高める教育活動を展開
＜いじめ/不登校＞無理せず「ありのまま」のあなたで
所属欲求・承認欲求を充足させ、自己肯定感を高める学級・仲間づくりを強化 多面的なアセスメントに基づいた児童理解と教育相談を実施し、発達支持的生徒指導を展開
- ② 法令を守り人権を尊重し合える関係づくり
＜個と公＞＜法教育＞「法」は互いを「守る」ために
ペア学年・縦割り活動、特別活動を通して、社会性を育む「きまり」「ルール」の意義、「規範」「善悪」「個人と公」について、物事を法令から捉える教育を充実
＜人権学習＞「こどもの権利」が実現される社会へ
人権に関する知的理解を進め、「自他の権利」「他者への敬意」を考え、言語環境を整え人権感覚を磨く
- ③ 多様性を認め合い自分の生き方を考える
＜ダイバーシティ&インクルーシブ教育＞みんなが「つなぐ」
特別支援教育により、多様な価値を認め合い、障がいや違いを差別することなく理解・受容・包括できる集団を育成
＜ライフデザイン教育・レジリエンス教育＞がんばれ自分！
自分の生き方を見直し、困難に出会うことも想定し、人生をデザイン（プランニング）する教育を実施 挫折したときのセルフケア、困難の乗り越え方を学ぶ（SST、ポジティブ）

【目標】
命の授業・人権教室…低学年・高学年で各1回実施
いじめ防止の授業・法令教育の実施…各学級2回以上
自衛防止教室、夢へのパスポート…各1回

【具体的な取組】

- ① 健康で健全な生活を営む身体
＜デジタルシティズンシップ教育＞失敗しながら覚える
デジタルとの付き合いをよりよいものとするため、SNSやスマホの使い方、ネットとの関わり方を自分たちで考え実践する生活習慣・実態を調査 睡眠や健康的な生活を考える学習
＜食育＞生きることは「食べる」こと
「楽しくておいしい」を感じる給食指導への転換を図る 食育をさらに進め、食への関心を高める
- ② 意欲的に継続して楽しく取り組める身体
＜業間活動＞「やってみよう」運動に挑戦
業間運動（マラソン、縄跳び、集団あそび）の時間を増やし、運動量の低下を防ぐ ペア学年での縦割り遊びを実施
＜体力づくり＞できなくても「大丈夫」楽しもう
運動を楽しむ目的の「体育祭」へ転換。みんなで楽しむ集団競技を充実 体育活動の成果を発表（マラソン、縄跳び）
- ③ 危機・危険を予想し回避できる身体
＜安全教育＞「ハインリッヒの法則」あぶないを予想
安全指導強化（登下校指導、通学班会議、交通安全教室）
外部講師を招聘（関税教室・薬物乱用・ネット犯罪等）
＜防災教育＞＜避難訓練＞「自助・共助・公助」
災害発生時における「自助共助公助」を考え行動できる教育 危険回避能力を育てる避難訓練（「不審者」「火災」「自然災害」「原子力」等）を実施 突発的な事態を想定したシミュレーションを組み入れる

【目標】
栄養指導・食育教室…各学級1回以上
交通安全教室…3回 薬物乱用防止教室…2回
防災教室…2回 避難訓練…年4回

【具体的な取組】

- ① 家庭・地域と共に育てる南の子
＜SDGs＞親と子でつくる「持続可能」な社会
常に制服・体操服をリユースできる教室「リユースルーム」を保護者が校内で運営 保護者発信の「SDGs」の取組 教員の代わりに通勤途中で子どもを見守る「安全の黄色いハンカチ運動」の拡散 あいさつ見守り運動の復活
＜保護者と地域との連携＞「社会に開かれた」教育課程
保護者と教員の「対話」を充実 教育懇談会で保護者に担任の思いをプレゼン 水泳学習、マラソン大会など、保護者参加型教育活動を増やす 子供会や地域の情報を学校情報配信アプリ Home&School で保護者へ配信し地域と家庭をつなぐ
- ② 15年間の学びがつながる南の子
＜園小連携＞＜小中連携＞＜学びの連続性＞
保育園・幼稚園等との交流（行事・遠隔・動画等）を活性化 指導者（保育士×教員）の連携強化（接続カリキュラムの実践）
気比中学校区の探究活動を小中連携事業で展開
＜地域リソースの活用＞「アウトリーチ」「アウトソーシング」
外部機関・企業の出前授業を積極的に活用 地域指導者の協力を依頼 遠隔でつながる教育活動や授業を実施
- ③ ふるさと敦賀を元気にする南の子
＜ふるさと教育＞「つるが好き好き」
敦賀のまちの魅力を伝える探究活動に地域の方を巻き込んで実施 地域を盛り上げる活動に積極的に参加
まちづくりを地域・家庭・学校で一緒に考える気運を高める

【目標】
SDGs 教室…保護者主催1回、学校主催1回
園小中連携…保育・授業参観2回、検討会3回
ふるさとプレゼン・PR作成 イベント参加 3回以上